



北小の風



大津町立大津北小学校
学校だより 第18号
令和8年3月19日(木)
文責:校長 上田 玲子

○校訓:よく学び やさしい心と強い体 額に汗する北っ子

○学校教育目標 「夢に向かって挑戦し ともに高め合う児童の育成」

旅立ちの3月～卒業・進級おめでとう～

来週は、6年生の卒業式、1～5年生の修了式です。感慨深いものがあります。

私は、この1年間しか北小の子どもたちの成長を見守れなかったけれど、この1年間の成長はとても素晴らしいものがありました。

【1年生】

学習の集中力と積極性があり、全員、歌と挨拶が上手で、困っている友達に寄り添う姿が多く見られました。



【2年生】

複式学級に慣れ、いろんな先生方とも学習を進めることができるようになりました。4名全員仲良しで給食の準備がとても上手です。



【3年生】

学習リーダーとしての活躍が見られるようになりました。元気よく毎日外で遊び、下級生や上級生と遊ぶ姿も見られました。



【4年生】

落ち着いた学習態度と丁寧なノートを取る子どもが増えてきました。12名と多い学年ですが、仲間割れもなく友達をそれぞれ思いやって行動している様子がよく見られました。



【5年生】

複式学級のベテランでもあり、誰に対しても態度を変えることなく、優しくきちんと対応するコミュニケーション能力があります。苦手な学習にも全力で立ち向かってきました。



【6年生】

人前で話す姿が回を重ねるごとにたくましく、凛々しくなり、自分の台詞はもちろんのこと、とっさに自分の考えを言える度胸が付いてきました。下級生に声をかけたり、寄り添ったりとリーダーシップをずっと発揮してきました。



卒業＝別れと考えるととても寂しいけれど、成長して旅立つ姿はとても喜ばしいことです。次の学年へ自信をもって羽ばたいてほしいと思います。そして、培った力は、自分のためだけに使うのではなく、人のために使えるように更に成長することを願っています。

なぜ、学校で勉強したり、本を読んだり、友達と遊んだり、体験や経験をするの？

子どもたちに修了式に話したい内容です。

勉強や読書、人との関わりや経験が私たちの人生にどのような変化をもたらしてくれるか、考えたことがありますか？一言で言えば、自分の世界が広がり、彩りが増し、人生が豊かになる・・・ということですが、例え話で説明しましょう。

ここに、**コップ1杯の水**があります。皆さんは、この水をみて、何を想像し、何を考え、どうしますか？

算数を学ばば、「この水は大体150mlぐらいだな」と量を考えることができるようになります。

社会や総合学習を学ばば「この1杯の水を得るために先人の人たちはどれほど努力をしてきたんだろう」と考えることができるようになります。

理科を学ばば、「この水はずっと雨が降らなかつたり、温暖化で気温が上がりすぎたりすると飲めない時代が来るかもしれない」と感じることができます。

音楽を学ばば、コップを叩くときに水の量で音が変わることを考えられるようになります。

体育を学ばば水は命を守る大切なものということを考えられるようになります。

図工を学ばば「絵の具で色を塗るときにこの水をどう表現しようか」と考えられるようになります。

家庭科を学ばば「お味噌汁はこのお水だけでは作れない」ことがわかるようになります。

道徳を学ばば、「困っている人にこの水を分けてあげたい」と考えることができるようになります。

国語を学ばば、これら全てのことを理解できるようになります。

だから学校で学ぶのです。わくわくするような未来を迎えるために、今、学んでいるのです。今年度1年間、しっかり頑張り、階段を一歩上がることができましたね。

でも、自分一人だけで頑張れたのでしょうか。違います。あなたたちの生活習慣や健康管理、心の安定を支えてきた家族の存在、学習を提供してきた先生方や地域の方々の存在、ともに笑いともに支え合った友達の存在あってからの自分の成長です。周りの全ての人に感謝して次の学年に向かっていきましょう。あなたたちの可能性は無限大です。